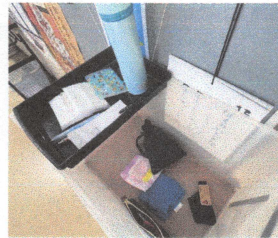
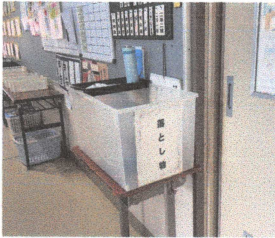


県北中生徒指導だより

R4.6.25

生徒指導部

☆物を大切に扱うこと、整理整頓をすること☆



職員室入口前には、落とし物が集められています。校地内で見つけられた落とし物の数々。

シャープペンシルやハンカチ、大きな水筒や新しいペンケースまで入っています。無くして困った時には、自分の物がなくなっているか確認してほしいと思います。

実は、これらの落とし物は随分長い間保管されています。自分の物が無くなっていることに気づいていないのでしょうか。それとも、また新しい物を購入すれば良いと考え、要らなくなってしまったのでしょうか。どちらにしても、物を大切に扱う気持ち、整理整頓をして物を管理する力は必要なのではないのでしょうか。

教育デザインラボ代表理事、教育評論家の石田勝紀さんが、次のように話していました。

これまで4000人以上の小中高校生を直接指導してきた経験から「生活習慣」が学力に影響を与えていることがわかりました。**次の3つの生活習慣のうち2つ以上が継続的にできていない子は99%成績が悪いというものです。その3つとは「挨拶」「時間を守る」「整理整頓」。これら3つの習慣がそのまま学力を引き上げることにつながっていたのです。**3つの生活習慣を守ることは、勉強ができるようになる基礎作りです。 ※一部省略

実は、この整理整頓も学力向上に明確につながっているのです。なぜなら、勉強は知識の整理整頓をして頭脳に格納していく作業と捉えることができるからです。つまり、身の回りの分類、整頓という作業は、そのまま知識の分類、整頓につながっているということなのです。必要なものを取っておき、要らないものは捨てるという分類も重要です。知識をすべて覚えるということをしらずに、一番重要な知識、次に重要な知識、必要ない知識と分類できれば、頭脳への格納は楽になります。身の回りの整理整頓ができることが、このように学力を高めることにつながっていくことを考えると、整理整頓がいかに大切なことがわかります。筆者が経験してきたことに次のようなことがあります。男子に多いのですが、彼らのカバンの中を見せてもらうと、乱雑に放り込まれた様々な教科のプリントやノート、教科書が飛び込んできます。さらには、折れていたり、しみがついたプリント類や、食べ物のカスも入っていることもあります。そしてこのような子は決まってノートの取り方も汚いのです。これでは勉強以前の問題です。やる気が起こるはずもありません。そのような子にクリアファイルを渡してあげて、整理整頓の方法を教えるということができるようになるのです。ですから、子どもは怠惰だったわけではなく、やり方を知らなかったということもあるわけです。

本校でも、同様のことを様々な場面で繰り返し指導しています。ご家庭でも話題に挙げていただき、生活習慣を見直すきっかけになれば幸いです。

学校へのご意見をお待ちしております

学校へのご意見、要望等について、生徒指導主事（佐藤）までご提出いただければ幸いです。

.....きりとり.....

___月___日記入 ___年___組 生徒氏名_____ 保護者氏名_____
